

DXの大切さを講演する「ゑびや」社長の小田島春樹氏(名古屋市内)



愛知、東濃支部 合同で発会式

ぎふしん青年重役会

岐阜信用金庫の取引先の若手経営者らでつくる「ぎふしん青年重役会」は、愛知支部と東濃支部の合同発会式を名古屋市内のホテル

で開き、三重県伊勢市の飲食業「ゑびや」社長の小田島春樹氏が「従業員を増やさず売上5倍利益50倍を実現した「データ経営術」をテーマに講演した。

会員ら約200人が出席。同社は伊勢神宮近くに立地する老舗飲食店で、地元の名産品を取り扱う商店も経営。小田島氏は、同社では来客数をデータに基づき予測し効率的に運営していることを説明し、データ経営とDX(デジタルトランスフォーメーション)の大切さを指摘した。